

TECHNICAL REPORT

東洋化学株式会社

〒651-2128

本社 神戸市西区玉津町今津字岡の下 649

TEL : 078-912-1651

FAX : 078-913-6500

E-mail : toyo-chemical@gol.com

ハイコート#S-700&#S700-30 (水性アクリル系顔料分散剤)

近時溶剤に因る公害規制且つ亦、原油高価格時代突入から溶剤価格の高騰等により、基材(ビヒクル)の水溶化への検討が急務となって参りました。

然し、塗料、インキを始め顔料化を要する業界では、顔料の水溶性化即ち水性(エマルジョン又は溶液状)ビヒクルへの安全な分散を得ることが必要であります。これが為従来界面活性剤を添加して顔料を湿潤せしめ、更に保護コロイドを共存させるが如き手法を用い、顔料粒子自体の二次凝集をボールミルやペブミルで防止しながら、長時間かけて混和して来た事実は衆知の処であります。(だが充分ではありませんでした)

弊社ではこれが改良を旨として鋭意研究の結果、湿潤効果即ち(化学的結合を含む)親和性と保護コロイド的機能を有し、電気二重層(Double Layer)を示すアニオン型アクリル系水性高分子ハイコート#S-700を開発致しました。

このハイコート#S-700を用いますと微細化された顔料を二次凝集を起させることなく、短時間内にホモミキサーやコロイドミルを用いて容易に分散させることを可能に致します。

是非御使用の程をお薦め申し上げる次第です。

※性状:	(S-700)	(S-700-30)
外観	無色透明粘性液体	微黄色粘兆稠液体
主成分	アクリル酸エステル共重合体	同左
固形分(%)	40.0±1.0	30.0±1.0
粘度(25℃)CPS	800±200	15,000±4,000
PH	6.5±0.5	6.5±0.5
希釈溶剤	水、アルコール類、溶剤(メチル、エチル、ブチルセルソルブ等)	

※用途:

水性インキ、塗料等の親練り顔料分散剤として使用

※使用例:(フタロシアニン青の水性顔料親練りの場合)

フタロシアニン青 100重量部 } の割合で混和すると分散性良好な
ハイコート#S-700 30重量部 } 親練り物を与えます。

これを水性ビヒクルに攪拌混和して顔料化する場合、使用する水性ビヒクルのPH安定領域に(通常はPH6~9でありますので、アミン類-アンモニア又はモルホリン、モノエタノールアミン、ジエタノールアミン等を添加して)調整して用いて下さい。

この点に留意すれば貯蔵中の粘度上昇の問題等が解決され相溶性、混和性が顕しく向上致します。